

2016年5月31日
株式会社東陽テクニカ

米国 Black Duck Software 社と代理店契約を締結
OSS 脆弱性検出・修正セキュリティプラットフォーム
「Black Duck Hub」販売開始
～エンタープライズマーケットに、新たにサービス展開～

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝、以下 東陽テクニカ）は、オープンソースソフトウェア^{※1}（以下 OSS）のセキュリティ・管理自動化ソリューションのリーディングカンパニーである米国 Black Duck Software, Inc.（本社：マサチューセッツ州バーリントン、以下 Black Duck 社）と国内販売代理店契約を締結しました。東陽テクニカは、車載をはじめとした組込み機器を開発する企業に対し、ソフトウェア開発支援ツールの販売ならびにサポートを多数行ってまいりました。今後は Black Duck 社の日本法人であるブラック・ダック・ソフトウェア株式会社（本社：東京都千代田区）と協業し、エンタープライズマーケットに対しても新たなサービスを展開し、事業の拡大・強化を図ってまいります。

第一弾として、FinTech^{※2}の普及によりOSSの需要増加が加速していくと考えられる金融業界を中心に、エンタープライズ企業に対し、セキュリティ強化の解決策として業界で最も包括的な脆弱性検出・修正セキュリティプラットフォームである、OSS セキュリティリスク管理ツール「Black Duck Hub」を、2016年6月1日より販売いたします。

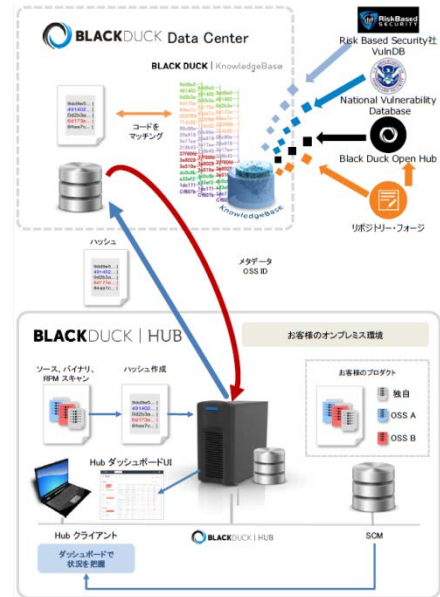
※1 ソフトウェアの設計図にあたるソースが無償で公開されていて、企業が開発やシステム構築において改良や再配布を自由に行うことできるソフトウェア。

※2 Financial technology の略。情報技術（IT）を駆使して金融サービスを生み出したり、見直したりする動きのこと。

一般的に企業で使用されているソフトウェアは、平均して30%以上がOSSで構成されていると言われていますが、OSSは無償で公開されていて幅広く利用できるため、どのOSSをどこに使っているかを認識・把握している企業は少ないと言えます。ソフトウェアの脆弱性が毎日新たに約40個^{※3}報告されている昨今、悪意のある第三者による不正アクセスやコンピュータウイルス感染の被害を未然に防ぐため、使用しているOSSを把握した上で運用することが、極めて重要です。

企業のセキュリティおよびソフトウェア管理者は、製品の市場投入までの期間を短縮するために、安全かつサポートが可能なOSSを積極的に採用しながら、採用したOSSの使用状況を短期間で把握し、脆弱性の危険性があるものは確実に除去していくことが求められています。

今回販売するOSSセキュリティリスク管理ツール「Black Duck Hub」は、オープンソースの脆弱性の検出・修復・管理という一連のプロセスを一元管理し、自社で使用している OSS を安心・安全に使用するためのツールです。脆弱性を検出するために採用しているデータベース（Black Duck Knowledge Base™）は、OSS に関連する業界において世界最大級※4 であり、脆弱性も含め日々 OSS に関するさまざまな情報が更新されています。「Black Duck Hub」はこのデータベースの最新の情報をもとに、使用しているコードベースの中にある OSS を識別し、脆弱性の有無を判別します。検出された脆弱性は重大度が評価され、リスト化されるため、管理者は自社のソフトウェアの構成や脆弱性に関する最新情報を常に把握し、一元管理することが可能になります。「Black Duck Hub」を用いることで、ソフトウェア開発に携わる開発者や管理者は OSS のポテンシャルを最大に生かすことで労力・コストを削減し、さらに製品の市場投入までの時間を短縮することができます。



<Black Duck Hub 動作イメージ>

- ※3 National Institute of Standards and Technology “2014 Computer Security Division Annual Report” より。
- ※4 一般に使用されている米国の公共機関が提供する National Vulnerability Database (NVD) に加え、Risk Based Security 社が提供しているデータベース VulnDB を保有しており、NVD と比較して平均 3 週間程度早く脆弱性を把握することが可能。

【Black Duck HUB の特長】

セキュリティーおよび開発部門が、自社コード内で使われているオープンソースに関連するリスクを識別、それに対する修正の分類、スケジューリング、追跡を行うことで、リスクの低減が可能になります。

- ・ コードベースをくまなくスキャンし、OSS を識別
- ・ OSS で新たに発覚する脆弱性を監視
- ・ OSS に関連する脆弱性をマッピング
- ・ 脆弱性による影響の重大度を判定し、修復措置をトラッキング

【製品データ】

- ・製品名： OSS セキュリティリスク管理ツール「Black Duck Hub」
- ・販売開始： 2016 年 6 月 1 日

<Black Duck 社について>

2002年に米国マサチューセッツ州バーリントンに設立、あらゆる規模の企業がOSSを安全に管理し運用することで、ビジネスチャンスを最大化させる手法や技術を提供しています。ブラック・ダック・ソフトウェア株式会社は、日本法人として2009年に設立されました。

■ブラック・ダック・ソフトウェア株式会社 代表取締役社長 ジェリー・フォズニック 氏のコメント■

「東陽テクニカ社のブラック・ダックビジネスへの参加を心より歓迎いたします。日本市場において豊富な経験と顧客ベースをお持ちの東陽テクニカ社とともに、お客様にはオープンソースの最大利用をセキュアかつ確実に実現をお約束し、さらにはお客様のビジネス拡大をご支援できることを楽しみにしています。」

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、昭和28年の設立時より「技術と情報」をキーワードに日本の技術発展に寄与することを使命として、主として最先端の「測るツール」を欧米の電子計測器メーカーより輸入し、日本の研究・開発者に提供してきました。さらに、「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー、トレーニングなどの取組みは、470名を超える全従業員の9割近くを占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。東陽テクニカはこれからも「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、「テクノロジーインターフェース」の使命を果たすべく努力してまいります。

東陽テクニカ Web サイト：<http://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ ソフトウェア・ソリューション

TEL：03-3279-0771（直通）

E-mail：ss_sales@toyo.co.jp

ソフトウェア・ソリューション TOP ページ：<http://www.toyo.co.jp/ss/>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。